

News Release

報道関係各位



2026年1月13日
株式会社アドバンスト・メディア

累計導入実績 15,000 ライセンス突破！！

医療向け AI 音声認識ワークシェアリングサービス「AmiVoice iNote」UI 刷新
～医療現場の働き方改革を支援し、医療 DX を加速！～

株式会社アドバンスト・メディア（本社：東京都豊島区、代表取締役会長兼社長：鈴木清幸 以下、アドバンスト・メディア）は、操作性向上・誤操作の防止・作業効率化を目的に、医療向け AI 音声認識ワークシェアリングサービス「AmiVoice iNote（アミボイス アイノート）」の UI（ユーザーインターフェース）を刷新した、最新バージョン 2.0.0 の提供を 1 月 13 日（火）より開始しました。

今回の最新バージョンでは、医療従事者の意見を取り入れ、操作性を大幅に改善し、より親しみやすく直感的に活用できる UI を実現しました。



「AmiVoice iNote」は、電子カルテへの記録入力の効率化に寄与するスマートフォンアプリです。各診療科や管理部門の多職種の方が利用でき、簡単に連携できるワークシェアリングサービスとして医療現場をサポートしています。

医療業界では DX の進展に伴い、これまで医療従事者の業務時間を圧迫していた記録作成や事務作業の効率化が喫緊の課題となっています。さらに、2024 年の働き方改革を背景に、医療現場では限られた人員で安全かつ質の高い医療を提供するため、日々の業務負担を軽減できる実用的な支援ツールへのニーズが急速に高まっています。

そのような中、最高水準の医療特化型エンジンを搭載した「AmiVoice iNote」は医療現場の記録業務を大幅に効率化し、リアルタイムな情報共有を実現するツールとして高く評価されています。その結果、2025 年 12 月時点で医療機関への導入実績は 15,000 ライセンスを突破しました。（※同シリーズ「AmiVoice iNote Lite」含む）

これまで「AmiVoice iNote」では、電子カルテの記載内容やメモなどを手早く整理・蓄積できる環境づくりを支援し、日々の記録業務をより効率的に進められるよう取り組んできました。さらに今回、現場での利用シーンに即した操作性向上を実現するため、「AmiVoice iNote」のUI刷新を行い、より快適に活用いただけるよう進化を図りました。



「メニュー画面」



「マイデータ画面」

今回のUI刷新では、看護記録の“メモ”という日常業務になじむよう、「AmiVoice iNote」の“ノート”にちなみ、文房具をモチーフとした親しみやすいデザインへ統一しました。さらに、使用頻度の高い「カメラ」「スタンプ」「ボイス」「メモ」に加え、利用状況やマイデータなどの主要機能をメニュー画面に集約し、必要な機能に迅速にアクセスできる導線へ再設計しました。また、誤操作防止の観点から、ボタンサイズや配置も見直し、忙しい現場でも確実かつスムーズに操作いただけるよう改善しています。

アドバンスト・メディアでは、今後も医療従事者の皆さまの声を取り入れ、操作性向上と機能強化を継続し、記録業務の効率化と医療現場の働き方改革に貢献してまいります。

■主なバージョンアップ

1.メニュー画面を刷新し、操作性向上・誤操作防止・作業効率化を実現

①利用状況メーター画面の追加

未転送データのお知らせや、過去の利用状況を表示。業務の進捗確認をより簡単にを行うことができます。

②ダイレクトタッチ機能の追加

メニュー画面から、「カメラ」「スタンプ」「メモ」「ボイス」の各機能をワンタップで選択できるようになりました。従来よりも操作ステップを削減し、よりスムーズな利用が可能になりました。

③マイページ画面を新たに設定

ログインユーザーごとにフォントサイズを変更できる機能を追加しました。

2. 画像・動画のサムネイル表示で、迅速なデータ選択が可能に

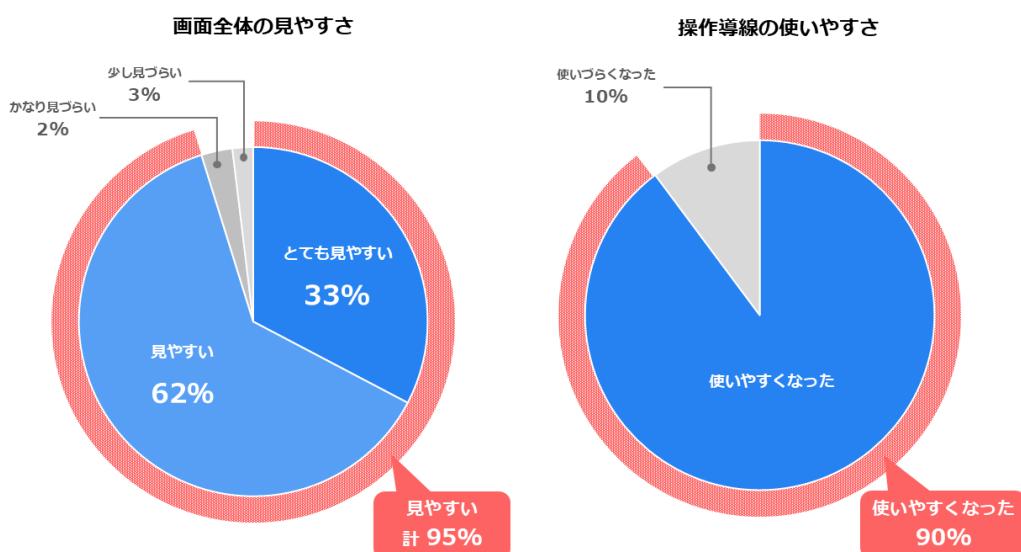
撮影内容を一覧画面上で直感的に把握し、作業効率と視認性が向上します。

3. 転送時の柔軟な設定により、情報確認の精度と記録の視認性が向上

「AmiVoice iNote」では、スマートフォンで音声入力したメモや、撮影した写真などを、Wi-Fi 経由で PC へ転送することができます。今回、PC へ転送した画像の拡大・縮小が可能となり、より詳細に画像内的情報を確認できるようになりました。さらに、スタンプメッセージの日付や時間の表示位置を、PC 転送時に変更できるようになりました。

■ ユーザーアンケート結果

既存ユーザーを対象に、最新バージョンの「AmiVoice iNote」をご利用いただき、操作性・デザインなどを評価するアンケートを実施しました。その結果、以下の通り高い評価を得ています。



調査期間：2025年11月11日～12月31日

調査対象：「AmiVoice iNote」ユーザー

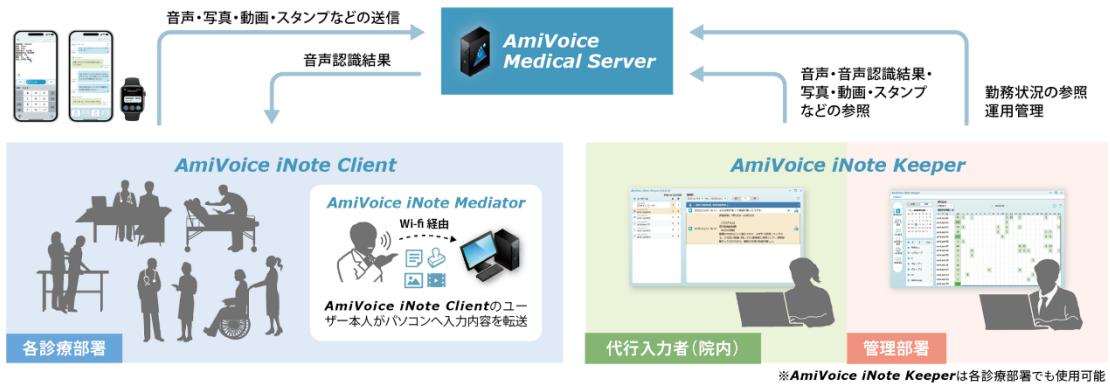
調査方法：インターネット調査

回答者数：104名

■ 「AmiVoice iNote」概要

モバイル音声認識を活用した入力支援機能・院内 SNS 機能・業務量モニタリング機能を持つオンプレミス型ワークシェアリングサービスです。

高い認識精度の医療向け音声認識辞書を使用しているだけでなく、写真/動画、診療に特化したスタンプ機能によって、いつでもどこでも手軽に記録を作成し、保存することができます。データはチャット形式で時系列順に保存され、パソコンの専用ソフトウェアからカルテシステムなどに転送可能です。【タイムリーな情報収集】【情報共有】【業務の見える化】など、従来の「AmiVoice」では実現できなかった、蓄積したデータを活用したタスクシェアリングの促進を実現し、医療サービスの向上に貢献します。



以上

【会社概要】<株式会社アドバンスト・メディア>

代 表 者： 代表取締役会長兼社長 鈴木 清幸

本 社： 東京都豊島区東池袋 3-1-1 サンシャイン 60 42F

U R L： <https://www.advanced-media.co.jp/>

設 立： 1997年12月

資 本 金： 69億3,031万円 (18,392,724株) (2025年9月末現在)

事 業 内 容： ◆AmiVoice を組み込んだ音声認識ソリューションの企画・設計・開発を行う「ソリューション事業」
◆AmiVoice を組み込んだアプリケーション商品をライセンス販売する「プロダクト事業」
◆企業内のユーザーや一般消費者へ AmiVoice をサービス利用の形で提供する「サービス事業」

1997年に設立。Interactive Systems, Inc. (米国)と日本語音声認識 AmiVoice を共同で開発し事業化。2005年には、音声認識専業の企業として初の東京証券取引所マザーズ市場（現：グロース市場）に上場し、音声認識事業で日本で初めて通年ベースで黒字化を達成しています。

「HCI (Human Communication Integration) の実現」をビジョンに掲げ、人が機械に自然に意思を伝えられる「ソフトコミュニケーションの時代」を拓くべく、音声認識ソフトウェア・クラウドサービス市場シェア No.1 (出典: ecarlate 「音声認識市場動向 2025」) の音声認識 AmiVoice を主軸にした事業を展開。会議、医療、コンタクトセンター、建設・不動産、物流・製造などの領域特化型エンジンとして、幅広いシーンで活用されています。

【本件のお問い合わせ】

報道関係	お客様
経営推進本部 広報チーム ・E-mail : press@advanced-media.co.jp ・TEL : 03-5958-1307	医療事業部 ・E-mail : medical@advanced-media.co.jp